



うさぎぐみだより



社会福祉法人尚徳福祉会 生麦保育園

2019年5月号 発行

さわやかな風に暖かい日差しが心地良い季節になりました。うさぎ組は、新しいお友だちが3名仲間入りし、19名でスタートしました。新しい環境にも少しずつ慣れて、子どもたちの元気な声が響きわたっています。子どもたちが安心して楽しく過ごせるよう一人一人の気持ちに寄り添って丁寧に関わりながら子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。

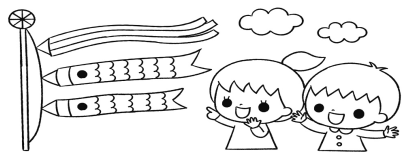


☆園庭遊び☆

友だちが登り棒をしている姿を見て、「〇〇ちゃん、すごい！」と言い、手を叩いて喜んでいる子どもたち、自分のことのように喜ぶ姿を見て嬉しく思いました。“私も頑張るぞ”とやる気が見られ、何度もチャレンジしています。少しずつできるようになると、笑いながら「先生、見て」とできるようになったことへの嬉しさを伝える姿が見られています。8人くらいで登り棒をやりたい時は「いれて」「いいよ。じゃあ、順番にしようか」と子どもたち同士でやりとりしていました。話し合うことができると、登り棒の近くで1列に並び、「1, 2, 3……ぽーっとなったら変わりましょ……♪」と数を数えて順番を守って遊んでいました。

☆こいのぼり制作☆

黄色、青色、ピンクの3色の中から好きな色の鯉を選び、身近にあるペットボトルのキャップやブロックを使って絵の具でスタンプをしました。鯉の形の画用紙にペタッとスタンプをすると、「ついた!」「先生、見て」と言って楽しそうな姿が見られました。後半は子どもたちが考えて色を混ぜて紫や茶色等ができると、喜んでいました。鯉の目を描く時は「怒った目だよ」「泣いた目だよ」「この鯉、寝てる」と言い、個性あふれる作品ができました。



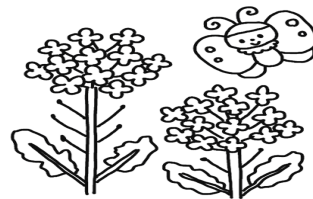
☆初めてのお当番活動☆

毎日、朝の会で果物カードをめくってお当番さんの発表をすると、お当番になった子は「やったー!!」と喜び、お当番ではない子は「やりたかったな〜」と少し残念そうな表情をしています。お当番さんは1番に片付けやトイシを済ませて「給食、取りに行く?」と保育者に聞き、お当番活動をしたい気持ちを表わしています。配膳をすることを伝えると、最初は嬉しさの余り片手で食器を持ち、小走りで配っていましたが次第にこぼれないように両手で食器を持ち、ゆっくりと配る姿が見られました。配り終わると、「次はいつできるんだろう?」「また、やりたいな〜」と言って楽しみにしている子どもたちです。

今後も子どもたちが大好きなお当番活動の時間を大切に見守っていききたいと思います。

☆散歩☆

朝の会でお散歩に行くことを伝えると、「やったー」と言って喜んでいる子どもたち!散歩に出掛け、菜の花や赤い実を見つけて「菜の花、大きいね」、「何の実かな?」と自然に興味を示す姿が見られています。貝の浜広場では、小道を歩いて落ち葉や黄色や青色の花等の春の自然を見つけました。子どもたちから「お母さんに見せたい」「持って帰りたい」と言って袋いっぱいに入れて探索を楽しんでいました。



☆お知らせ☆

5月25日懇談会

→園での様子やご家庭での様子、保護者同士の意見交換の場になったらと思っています。ご参加お待ちしております。